

## 第2分科会記録

### 第2分科会テーマ

『学校と地域が連携して「郷土に学び、郷土を愛し、郷土に誇りがもてる」子どもたちを育むためのPTA活動のあり方』

発表校と係役員 発表校 菅平小・中学校 PTA

助言者	高橋 幸彦先生	(四中校長)
司会者	宮澤 弘樹	菅平小・中学校 PTA
発表者	村本 修	菅平小・中学校 PTA
記録者	渡邊 美茂	菅平小・中学校 PTA
記録者	竹尾 弘紀	菅平中学校
世話係	原澤 利明先生	

#### 1 提案の趣旨

菅平では80%以上の保護者が地元産業に就き、また25～35歳の男子卒業生の半数は菅平に戻って生活をしているという特徴があります。子どもたちや地域の将来を考えたとき、菅平の産業（農業・観光業）に携わりながら、地域の発展のために積極的に関わろうとする人材作りは欠かせません。そこで、「菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる」という目標を掲げ「この地に生きることの喜びを実感する」ために、「地域との交流、体験の実践」や「生活科、総合的な学習の時間やキャリア教育を通して、地域の農産業や観光産業を知る学習」を大切にしながら、この地に誇りと愛情をもち大切にできる心情を育てていくためのPTA活動の紹介。

#### 2 討議の内容 1～5グループに分かれて討議

- ・菅平小・中学校のような地域に密着したPTA活動を模索したい。
- ・和田小は全校70名で川辺小は全校600名のように学校によって規模が大きく違うので、規模に適合したPTA活動を考え、地域の大人を巻き込んでいきたい。
- ・中学は資源回収などを行っているが、どちらかという地元との関係が薄くなりがちである。小学校は相撲大会・歌舞伎の発表・田植え・餅つき・ウォークラリー・バザーなど地域と密着したPTA活動が行われている。菅平小・中学校の地域との関わりはすごいと感じた。
- ・地域参加型の行事を考えていきたい。
- ・人数が少ないとできるが、人数が多いとなかなか難しい。
- ・菅平小・中学校のように、3代にわたって親子が知り合いでPTA活動を盛り上げるのはすごいですが、人数が多いと難しい。

#### 3 助言者のまとめ

PTA活動が地域と密着することによって

- ・菅平小・中学校のようにPTA活動の目標を掲げることが大事であり、地域との関わりを深めることにより地域全体で子どもを育てる気運が高まる。
- ・子どもとのふれ合いにより、地域住民の生き甲斐につながる。
- ・保護者や地域との信頼関係が増す。
- ・学校教育が、質的かつ量的に充実する。
- ・教員の資質向上につながる。

